

## 令和4年度 文化財に関する事業の実施状況について

### 1. 文化財保護審議会の開催状況について

- 令和4年度第1回文化財保護審議会（令和4年9月5日開催）  
【審議案件】  
豊島区文化財の登録について（答申）  
■ 候補物件：有形文化財（建造物） 婦人之友社社屋
- 令和4年度第2回文化財保護審議会（令和4年12月23日開催）  
【審議案件】  
豊島区文化財の登録について  
■ 候補物件：有形文化財（考古資料）  
染井遺跡（旧丹羽家ひろば整備地区）出土遺物  
豊島区文化財の指定について  
■ 候補物件：豊島区登録有形文化財（建造物）  
榎本家店舗兼住宅及び新座敷棟

### 2. 豊島区文化財の総登録・指定件数について

（単位：件）

種類	有形文化財	無形文化財	民俗文化財		史跡	名勝	天然記念物	合計
			無形	有形				
指定	9	0	3	2	1	0	0	15
登録	362	4	0	2	0	0	0	368

※令和4年12月31日現在

### 3. 文化財詳細調査について

#### （1）「榎本家店舗兼住宅および新座敷棟」建造物調査

- ①目的：豊島区登録有形文化財である「榎本家店舗兼住宅および新座敷棟」を指定文化財とするため、建築年代の確定や建築当初の痕跡調査を行う。
  - ②調査内容：実測調査・写真撮影・痕跡調査・損傷調査等
  - ③調査期間：令和4年8月～12月
  - ④成果品：調査報告書（来歴・特徴・考察・実測図面・写真等）
  - ⑤委託先：協同組合 伝統技法研究会
- ※調査結果を踏まえ、豊島区文化財保護審議会にて文化財指定について諮問中。

## (2) 「婦人之友社社屋」建造物調査について

- ①目的：豊島区登録有形文化財である「婦人之友社社屋」を指定文化財とするため、設計までの過程や建築当初の痕跡調査を行う。
- ②調査内容：実測調査・写真撮影・痕跡調査・損傷調査等
- ③調査期間：令和4年12月～令和5年3月
- ④成果品：調査報告書（来歴・特徴・考察・実測図面・写真等）
- ⑤委託先：協同組合 伝統技法研究会

## 4. 「池袋富士塚」の補修工事について

- (1) 事業目的：経年劣化により講碑にヒビ・剥落が見られるため、補修及び劣化防止措置を講ずる。また、塚本体にヒビ割れが目立ち、空洞化が進んでいると考えられることから、ボク石の補修と充填剤の注入を行う。  
豊島区指定史跡であることから、豊島区文化財保護事業補助金交付対象事業とする。
- (2) 事業期間：令和4年度～令和5年度
  - ①初年度目：令和4年4月1日～同年9月15日（完了済み）
  - ②2年度目：令和5年4月1日～同年6月30日（予定）
- (3) 実施内容：①初年度目：講碑の補修および劣化防止  
②2年度目：講碑の補修および劣化防止ならびに塚本体の補修
- (4) 事業予算：総事業費：4,492,180円（補助額：2,245,000円）
  - ①令和4年度事業費：2,090,440円（区補助額：1,045,000円 執行済）
  - ②令和5年度事業費：2,401,740円（区補助額：1,200,000円）

## 5. 「豊島長崎の富士塚」高木剪定事業について

- (1) 事業目的：強風等による倒木の危険を回避し、幹および根が塚本体に影響しないようにするため、敷地内の高木を剪定し繁茂を抑制する。また、保護柵を整備することにより、侵入等による損壊などを未然に防ぐ。
- (2) 事業期間：令和4年11月18日～令和5年3月15日
- (3) 実施内容：塚内の高木・中低木の剪定、西側保護柵と指定範囲内にある石灯籠の保護柵の更新
- (4) 事業予算：総事業費：3,520,000円  
（うち国庫補助1,760,000円 都補助：880,000円 区補助：440,000円）

## 6. 埋蔵文化財試掘・確認調査及び本発掘調査の実施状況について

- (1) 試掘・確認調査実施件数：14件（令和4年4月～12月実績）
- (2) 本発掘調査の実施状況
  - ①南池袋遺跡 南池袋二丁目C地区再開発地区
  - 場 所： 南池袋二丁目C地区再開発用地
  - 原 因： 第一種市街地再開発

調査対象面積： 約 17,000 m<sup>2</sup>  
調査期間： 令和3年8月～令和5年3月（調査継続中）  
調査の成果： 縄文時代、江戸時代、明治時代から昭和初期の遺構・遺物を多数発見。昭和初期の煉瓦造建造物等。

② 巢鴨遺跡 個人住宅建築予定地

場所： 巢鴨一丁目（本駒込六丁目）  
原因： 個人住宅建設  
調査面積： 40 m<sup>2</sup>  
調査期間： 4月20日～5月9日  
調査の成果： 江戸時代の大名屋敷もしくは武家屋敷の庭にあたる。植栽痕、土坑等を検出。

③ 氷川神社裏貝塚 集合住宅建築予定地

場所： 池袋本町二丁目  
原因： 集合住宅建設  
調査面積： 48 m<sup>2</sup>  
調査期間： 5月17日～5月26日  
調査の成果： 時期不明の溝状遺構を複数基発見。

④ 染井遺跡 駒込中学校校庭

場所： 豊島区立駒込中学校校庭  
原因： 校庭整備工事  
調査面積： 24 m<sup>2</sup>  
調査期間： 5月31日～6月10日  
調査の成果： 藤堂家下屋敷に関わる江戸時代の遺構・遺物を発見。

⑤ 千早遺跡 旧第十中学校校庭

場所： 旧豊島区立第十中学校校庭  
原因： スポーツ施設建設工事  
調査面積： 約 200 m<sup>2</sup>  
調査期間： 9月8日～10月7日  
調査の成果： 縄文時代の土器が多数出土。

⑥ 巢鴨遺跡 寺院建設予定地

場所： 巢鴨三丁目  
原因： 寺院建設工事  
調査面積： 約 200 m<sup>2</sup>  
調査期間： 11月1日～12月8日  
調査の成果： 江戸時代の地下室、溝状遺構、土取り穴、植栽痕など検出。江戸

時代から明治、大正期の陶磁器、土器、用途不明の土製品等が多数出土。

- ⑦巢鴨遺跡 集合住宅建設予定地  
場 所： 巢鴨一丁目  
原 因： 集合住宅建設  
調 査 面 積： 39㎡  
調 査 期 間： 12月12日～1月10日（予定）  
調 査 の 成 果： 江戸時代の地下室？を検出。

- ⑧長崎一丁目周辺遺跡 都道補助第172号線  
場 所： 長崎一丁目都道用地  
原 因： 道路建設  
調 査 期 間： 7月1日～3月31日（予定）  
調 査 の 成 果： 江戸時代の区画溝と思われる遺構、井戸、建物跡、ムロなどを検出。

## 7. 周知の埋蔵文化財包蔵地（遺跡）の範囲変更について

### (1) 対象となる埋蔵文化財包蔵地（遺跡）

遺跡名：氷川神社裏貝塚  
所在地：池袋本町2丁目・3丁目  
時 代：縄文・弥生・奈良・平安・中世・近世  
種 別：散布地（包蔵地）・貝塚



※上記赤字・赤線部が範囲変更箇所

### (2) これまでの経緯

- ① 範囲変更の根拠となる調査（包蔵地の範囲外に及ぶ調査）
- (a) 平成29年10月～12月（池袋本町3-21-15 南投碧山巖寺地区）  
試掘調査・確認調査・本発掘調査  
主な遺構：縄文（後期）の貝塚・包含層  
主な遺物：縄文土器、石器
- (b) 令和3年6月～7月（池袋本町3-20・21 防災街区整備事業地区）  
試掘調査・確認調査  
主な遺構：縄文（後期）の包含層・土坑、中世～近世の溝状遺構  
主な遺物：縄文土器

## ② 豊島区史の記載

「豊島区史通史編1」第2章/第2節「縄文文化と池袋貝塚」（34～52頁）

包蔵地の範囲外である稲垣氏の敷地内から、多数の土器や石鏃等の出土遺物が見つかった旨の記載があり、現在の包蔵地の範囲と齟齬が生じていた。



## (3) 周知の埋蔵文化財包蔵地（遺跡）の範囲変更

周知の埋蔵文化財包蔵地の範囲外である、上記(2)の調査成果及び豊島区史の記述等について東京都へ報告を行ったところ、東京都において12月6日付で周知の埋蔵文化財包蔵地の範囲変更について決定した。

※周知の埋蔵文化財包蔵地については、都道府県の教育委員会の所掌事務。

## (4) 今後の取り扱い

区において「遺跡地図」や「遺跡一覧」等の情報について修正を行い、新たに拡大された範囲についても、土木工事等の際に届出等が必要となる旨、窓口や区ホームページ等で案内・周知を行う。

## ※周知の埋蔵文化財包蔵地（遺跡）とは

埋蔵文化財を包含した土地を「埋蔵文化財包蔵地（遺跡）」という。特に外形的な特徴や学術的な調査研究等から遺跡があると推定される土地について、広く周知し土木工事等の際に届出を義務付けている範囲を「周知の埋蔵文化財包蔵地」と呼んでいる。豊島区内には、現在16カ所の周知の埋蔵文化財包蔵地がある。

## 8. 文化財普及啓発事業の実施について

### (1) 徳川林政史研究所公開講座（古文書講座）

開催概要：徳川林政史研究所と豊島区教育委員会との共催で実施する公開講座。今年で24年目を迎えた。

日 時：令和4年10月16日（日）13時30分から16時40分

会 場：としま区民センター 701・702・703 会議室

受講者：43名

講師：徳川林政史研究所研究員 2名

講座内容：徳川林政史研究所による岐阜県中津川市における文献調査の成果をもとに、古文書を使用した講義をおこなった。

## (2) 自由学園明日館展示企画「文化財の中で文化財を知る Vol.2」

開催概要：重要文化財である自由学園明日館講堂を会場に、豊島区内に所在する文化財を紹介することで文化財に対する理解を深め、併せて文化財の保護について普及と啓発を図る。

「東京文化財ウィーク 2022」事業の一環で、令和3年度から開催。

日時：令和4年11月3日(祝)～11月12日(土) 10:00～16:00 (全10日間)

会場：自由学園明日館 講堂

来場者数：1,517名 (前年度比：506名増)

※校長・園長会やチラシ配布にて、区内各小中学校に事前周知を行った。

事業内容：

### ① 展示コーナー

#### (a) 出土遺物展「くらしを彩るガラス」

雑司が谷遺跡での出土遺物を中心として、明治時代から昭和初期にかけて、雑司が谷地域の庶民が暮らしの中で実際に使用していたガラス製品を紹介することで、当時の人々の生活に理解を深めて頂くことが目的。



展示スペース外観



展示例

#### (b) パネル展示「豊島区の文化財建造物」(全25棟)

- ・重要文化財 (2棟)
- ・東京都指定有形文化財 (1棟)
- ・豊島区指定有形文化財 (4棟)
- ・国登録有形文化財 (13棟)
- ・豊島区登録有形文化財 (5棟)

※パネルに区ホームページの「文化財紹介ページ」に誘導するQRコードを表示。地図情報と組み合わせて「まち歩き」にも活用できるようにした。





パネル展示の様子



② 体験コーナー

(a) 「乾拓をしてみよう！」 (期間中参加者総数：135名)

区内から出土した、江戸時代の玩具である「泥面子」複製品の文様を紙に写し取る「乾拓」を体験。泥面子と同じ文様のカードが館内に隠してあり、乾拓で写し取った文様と同じカードを探してもらうゲーム性のある企画とした。

カードが見つかった方には「泥面子のストラップ」をプレゼントした。

本企画は、NPO法人「としま遺跡調査会」の普及啓発事業と連携して実施。

同会より、乾拓やプレゼントに使用する「泥面子」の複製（150個程度）や乾拓や泥面子に関する説明パネルの提供を受けた。



乾拓体験コーナー



乾拓と同じ文様カードを見つけた方には、「泥面子ストラップ」をプレゼントしました

(b) 「獅子頭のペーパークラフトを作ろう！」 (期間中参加者総数：44名)

獅子頭のペーパークラフトづくり (持ち帰り可)



獅子頭のペーパークラフト



獅子頭ペーパークラフト体験コーナー



(c) 長崎獅子舞の実演「長崎獅子舞をみて、ふれて、つくってみよう！」

11月6日（日）10：00～12：00（参加者：6名）

- ・獅子頭のペーパークラフトづくり
- ・自由学園明日館の庭で、ペーパークラフトの獅子頭をかぶって獅子舞の練習体験
- ・長崎獅子連による獅子舞の実演と獅子舞の歴史などの解説



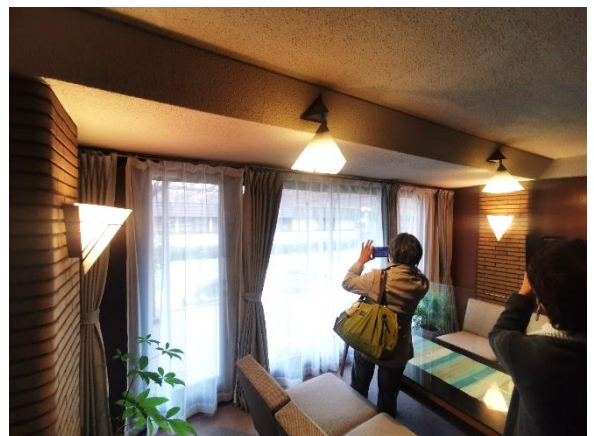
(d) 豊島区登録文化財「婦人之友社社屋」ガイドツアー

11月5日（土）（総参加者数：26名）

①11：00～11：30 ②13：00～13：30

③15：00～15：30

- ・文化財登録された「婦人之友社社屋」内のガイドツアーを実施。



(3) 南池袋二丁目C地区遺跡見学会の実施について

経緯及び概要：令和3年8月から発掘調査を行っている「南池袋二丁目再開発地区」南街区エリア内にて、煉瓦造基礎の遺構や乾板(カメラのフィルム)が発見された。

同街区の一部は、1919（大正8）年に設立された現富士フィルムの前身である東洋乾板株式会社の敷地にあたり、発見された遺構は、同社の研究棟等の基礎部分と考えられる。

当該遺跡は、豊島区における近代の歴史を示す貴重な資料であるため、

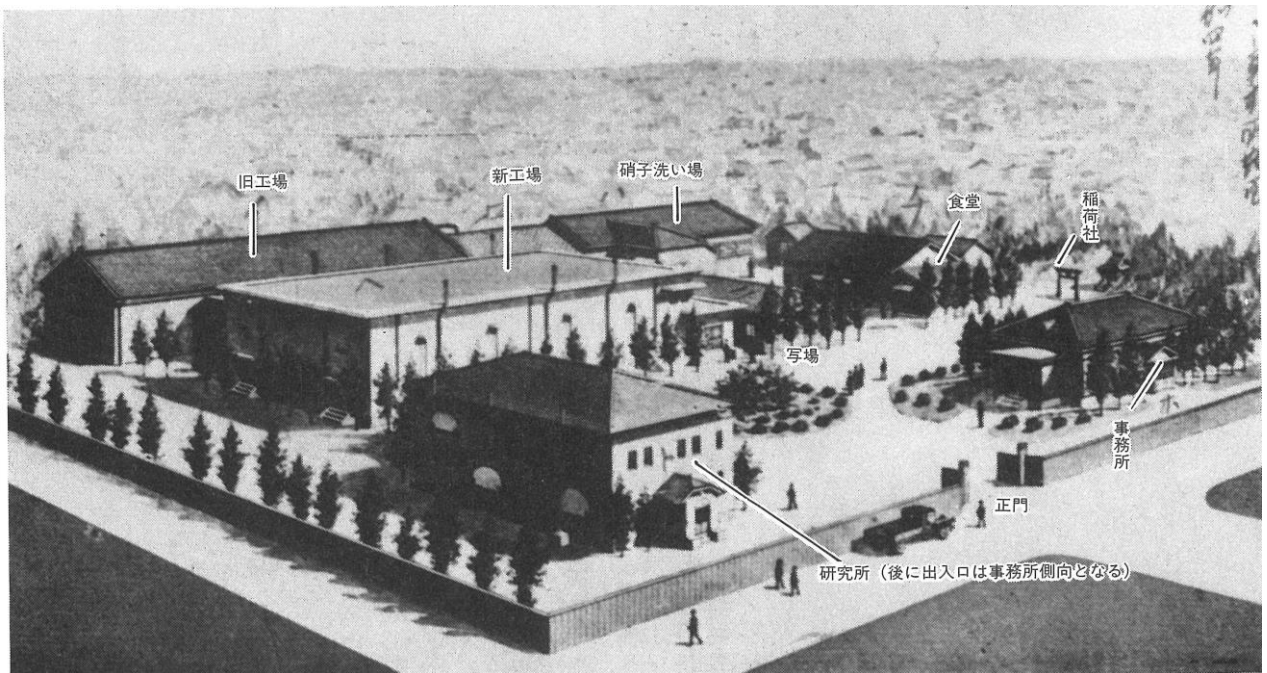


同再開発組合の協力を得て、遺跡見学会を実施予定である。

日 時：令和5年2月4日（土）①10：00～12：00 ②13：00～15：00（予定）  
※雨天中止。校長・園長会等で周知予定。



検出された煉瓦造基礎



東洋乾板 俯瞰図